

(様式1)

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入して下さい。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>	<b>13</b>
<b>合計</b>	<b>100</b>

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

### ○用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホームまごころ						
(ユニット名)							
所在地 (県・市町村名)	奈良市朱雀6-6-8						
記入者名 (管理者)	中屋 豊子						
記入日	平成	21	年	3	月	1	日

## 自己評価票

項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることの大切さを充分理解している。	○	地域に住んでいた入居者はまだいない為、取組み方や理念の確立に努力すべきである。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のコミュニケーションの中で共有しているが、きちんと明文化された共有は十分ではない。理念を解り易い言葉で表現し、壁に張っている。日々の実践に生かされるように取り組んでいる。	○	新しい職員が増えたので理念の実践が出来るよう指導していきたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者が馴染みの地域で安心して暮らせるよう支援することが事業所に求められていると思います。	○	馴染みの環境がその人らしさを守ることに繋がることが地域の人に理解してもらえよう活動していきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方とあいさつをするよう心がけている。近隣の方には花を頂いたり、自家製野菜を頂くなど支援して頂いている。	○	今後も近所づきあいが続くように取り組んでいきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動には積極的に参加している。地域での催し物や行事等、積極的に参加して、地域の人々との交流に努めている。老人会にも一名参加できて喜ばれた。	○	防災活動や災害発生時など不測の事態が起きた場合にはお互いに助け合えるよう親しい関係を維持していきたい。

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>この半年は地域の高齢者のことまでは手が回っていなかったことを反省し職員確認に力を入れた。今後は再び取り組めるようになると思う。</p>	<p>○</p>	<p>昨年度は紙細工講習会を開催し、地域に参加を呼びかけた。今後は皆と充分話し合いボランティアチームを発足させて、地域の高齢者のホーム独自の暮らしを支える基盤作りをしていきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価に参加することで、その意識が高まる。年に一回大いなる反省をもって自己評価することにその意義を感じている。また、評価を生かして改善すべき個所は速やかに取り組んでいきたい。</p>	<p>○</p>	<p>ホームのより良い運営の為に自己評価、外部評価を活かして職員の質を高めていきたい。</p>
<p>8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>おこなっていると思う。運営推進会議を3回開催して、評価の取り組み状況を報告し、委員の意見を聞いている。具体的に活かしたことは終末期ケアにおけるホームの対応を明確に示せたことである。</p>	<p>○</p>	<p>今期においては地域高齢者の役に立つべきホームの在り方をさらに具体化していきたい。</p>
<p>9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に市職員に参加してもらった。また、市への報告書類などは郵送やFAXを利用せず、直接持参するようにして、ささいな事でも教えてもらいつつ向上につなげたい。</p>	<p>○</p>	<p>昨秋、当地域の支援センターの担当者が変わるなど、せっかく近くなってなんでも相談出来るかなといった関係が振り出しに戻ってしまったので、また良い関係を築く必要がある。</p>
<p>10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>あまり専門的に学べていない。研修には職員が参加できるよう積極的に支援しているが、必要な人に十分な説明を行えるようさらに学ぶ必要がある。</p>	<p>○</p>	<p>学ぶ機会があればこれからも参加して知識を多くしていきたい。</p>
<p>11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料を用いて学習するなどして、虐待防止に努めている。職員会議においても時に取り上げており、利用者への言葉がけにも注意するよう話し合っている。</p>	<p>○</p>	<p>常に利用者を尊重する姿勢に徹するよう今後も全員で防止に努めていく。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>			
<p>12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は家族に対し二人以上きて頂き、内容や運営方針について説明を行い、不安や疑問があれば後々でもいつでも応じ、理解、納得が得られるように対処している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も取り組む必要がある。</p>
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の不満は運営に反映されていると思う。利用者の意見や不満、苦情については職員や家族からいつでも聞く用意があり、速やかに見直し改善、解決するようにしている。</p>	<p>○</p>	<p>信頼を損なうことのないよう運営に反映させていく。</p>
<p>14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に家族への手紙を送っている。家族への報告は定期的に行い、個々には電話連絡や面会時を利用して報告している。</p>	<p>○</p>	<p>今後もよい関係が保てるよう必要に応じ報告していく。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議のメンバーとして家族に交替で出席出来るように配慮しつつ、広い視野から内外に表せる機会を提供し運営に反映している。</p>	<p>○</p>	<p>ホームの運営に家族等の意見を反映させていかねばならない。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>よく聞いて繁栄させていると思う。月一回職員を出し合い細かく分析して配慮に努めている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も職員の意見を運営に反映させていきたい。</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者等の状況の変化、要望に応じて柔軟に対応している。勤務時間等の調整については常に努力している。</p>	<p>○</p>	<p>今までは職員がゆずり合って調節してくれたが、今後はゆとりのある職員体制が確保出来るようにしたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の入れ替わりはゆっくりと行われるように配慮している。開所以来の職員もいる。さらに馴染みの管理者や職員の異動や離職を必要最小限に抑えるように常に利用者への配慮を怠らず運営するよう心がけている。</p>	<p>○</p>	<p>職員が高齢化しつつあるので、利用者に迷惑がからないように新職員の育成をしていく予定である。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>育てようとする意志は伝わるが、どこまで計画的かははっきりしないところもある。今まで、職員不足のままやりくりしていたので受講の機会があってもやや取り組み方に消極的になっていたと思う。</p>	<p>○</p>	<p>今後は研修の機会があれば積極的に受講できるよう職員に働きかけていきたい。</p>
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月一回地域交流日をもうけて、同業者に参加を呼び掛けている。また、お互いに運営推進会議のメンバーになっており、活動を広げたいということで一致している。</p>	<p>○</p>	<p>同業者との交流をさらに発展させ具体的に実践していく為の基盤をつくりたい。</p>
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職場は穏やかな雰囲気でありストレスは少ない。ストレスを軽減する取り組みとして休日暇を多くしたり、時間の短縮、助っ人を入れて負担を減らすなど工夫している。</p>	<p>○</p>	<p>入居者へのサービス低下につながりかねないので、ストレスは誰でも抱えるものとしてとらえ、管理者は特に観察するよう心がけている。</p>
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>給与、賞与への反映がなかった。特に若い職員が向上心をもって働ける職場にする為に給与面の改善が必要とのことで、取り組み始めた。</p>	<p>○</p>	<p>運営者はさらに努力すべきである。</p>

<p>項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取り組んでいきたい項目)</p>	<p>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</p>
<p><b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>			
<p>23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所にいたるまでのプロセスを重要にとらえて面談を数回行い、信頼関係を得てから入所となるようにしている。</p>	<p>○</p>	<p>相談の時から、本人、家族、職員を交えてコミュニケーションができるよう配慮していきたい</p>
<p>24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人同様、家族も環境変化には不安を持っている。十分に話し合う機会を提供できるように努力している。</p>	<p>○</p>	<p>家族と信頼し合う関係は、入所者同様、初期が重要と理解している。</p>
<p>25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族と共にその時必要な支援は何かを探り、色々なサービスがあることを説明している。利用者本位の選択が大切であるとの対応に努めている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も継続して取り組む。</p>
<p>26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気から徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>希望に応じて体験入所の機会を提供している。納得されるまで来訪や電話等いつでも相談できる用意がある。</p>	<p>○</p>	<p>今後も継続して取り組む。</p>
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>			
<p>27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員間でも共に学び支えあうというホームとしての理念でもある。</p>	<p>○</p>	<p>入所者から教わることも多く、本当に支え合う関係だと認識している。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族会だけでなく誕生会には必ず家族を招待するなど意識することなく支え合う自然の関係を築いている。</p>	<p>○</p>	<p>家族の力はホームの運営に欠かせないものと認識している。一緒に支えることがより良い環境に繋がっていく。</p>
<p>29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>個々の関係は実に様々であることをふまえ、程よい関係の維持、継続を応援している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も取組んでいきたい。</p>
<p>30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>昨年までは地域とつながりのある入居者がいたので、関係継続を維持してきた。また、そのような入居者がおられれば大いに努めたい。</p>	<p>○</p>	<p>入居者や家族から希望、要望があればぜひ支援していきたい。</p>
<p>31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>職員一人一人が意識を持って、より良い関係を築けるように努めている。同じ屋根の下に縁あって暮らしている、仲間としての意識作りを育てるよう努めている。</p>	<p>○</p>	<p>入居者の入れ替わりがあるので、新入居者が孤立しないよう良い関係作れる支援をしていきたい。</p>
<p>32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>長期入院となり退居された元入居者に対しても時々見舞いに行き様子把握し家族の相談にも応じている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も取り組みを継続していく。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>			
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>			
<p>33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>十分に努めている。思いや意向は一定でないことも多いが、わがままと思うことでも家族と協力し合い本人の意向に従って検討を重ねている。</p>	<p>○</p>	<p>本人の思いに添える介護を目指している。</p>
<p>34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>これまでの生活歴、暮らし方等は家族や本人とのコミュニケーションを通して把握するよう努めている。</p>	<p>○</p>	<p>新人職員でも入居者についての生活歴がわかるよう、資料を提供したり、会話の中から得た情報を共有している。</p>
<p>35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている</p>	<p>その人らしさを総合的に把握するよう努め、日々の体調や心身状態に応じて暮らし方を工夫している。</p>	<p>○</p>	<p>入居者の生活が不活発にならないよう努めていきたい。</p>
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>			
<p>36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員、家族等の意見を反映した介護計画を作成している。</p>	<p>○</p>	<p>利用者を取り巻く環境がより良いものとなるよう最善の努力をしていく。</p>
<p>37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現状に即して見直し、出来ていない時も多かったことを反省している。</p>	<p>○</p>	<p>今後、見直しの必要が生じれば、迅速な対応をしていきたい。</p>



<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報の共有は出来ている。チームとして共有すべきことは記録に残すようにしている。日頃、メモやノートを通して個々の様子を把握出来るような流れを作っている。</p>	<p>○</p>	<p>職員ノートを活用し仕事に入る前に目を通すようにしている。</p>
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>			
<p>39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>個々やその時々状況に応じて、家族の代わりに通院介助や受診の便宜を計ったり送迎したりしている。職員は家族同様に本人の支援をしている。</p>	<p>○</p>	<p>さらに柔軟な対応を目指す。</p>
<p><b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b></p>			
<p>40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ボランティアに来てもらい「地域交流会」をおこなっている。必要な時に協力して貰えるよう地域資源を活用出来る体制作りが必要。</p>	<p>○</p>	<p>必要な時に必要な協力が得られるよう地域資源を有効に使える方法を開発出来たらいいが、やや難しい。</p>
<p>41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>時にはヘルパー、介護タクシーを利用するなどの支援をしている。他のサービスを利用したいという希望はあまり聞いていない。</p>	<p></p>	<p>理美容、マッサージの出張サービスの需要は今後あるかもしれないので、情報を集めておく。</p>
<p>42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>馴染みとなった地域包括支援センターは昨年、経営者が変わった為今後新しい関係を築いていこうと思う。</p>	<p>○</p>	<p>新しく協働を目指して取り組みたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取り組んでいき たい項目)</p>	<p>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</p>
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の中ではホームの主治医以外の主治医を選んでいる人もいる。本人や家族の希望を第一として支援している。</p>	<p>○</p>	<p>今までと同様に取り組む。</p>
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>ホームの委託医院は専門医ではないが紹介状を書いたり服薬の相談にのってくれたり認知症について勉強されている。</p>	<p>○</p>	<p>認知症の専門医は近くにいない為家族の協力が必要である。</p>
<p>45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>気軽に相談できる看護婦はいないので、医師に直接気軽に相談している。</p>	<p>○</p>	<p>本社のスタッフに医者がいるので、何でも相談している。</p>
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>病院関係者との情報交換や相談に努めている。家族の要望に応じて連携の体制を取っている。</p>	<p>○</p>	<p>これまで同様取り組んでいく。</p>
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化、あるいは終末期の在り方等について本人や家族の意向を出来るだけ日頃から探るようにしており一致していないことも多いが共有はしている。</p>	<p>○</p>	<p>終末期においてはホームの出来ること出来ないことを明確にしているが、本人の思いと家族の思いが一致していない。また、流動的でもある。</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組む姿勢である。今後も職員体制等の検討や準備が必要になってくることを理解している。</p>	<p>○</p>	<p>かかりつけ医、家族、ホーム職員とでチームを組むということで話し合い一致している。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えの希望者があれば十分な準備期間と情報交換等ダメージを防ぐための手段を用意していく。</p>	<p>○</p>	<p>家族の協力の元に取り組んでいる。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>出来ていると思う。プライバシーを損ねることのないように日頃から言葉の掛け方等、気配りをしている。記録等の個人情報の取り扱いにも注意している。</p>	<p>○</p>	<p>新人職員が増えたので教育していきたい。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自己決定や本人の同意を得ることは介護者としての基本であると同時にその人に合わせた説明を行い、納得を得て暮らして頂いている。</p>	<p>○</p>	<p>新人職員が増えたので教育していきたい。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一対一の介護ではないので限界があるが可能な限りおこなっている。その日をどのように過ごしたいか希望を伺いながら寄り添う支援をしている。</p>	<p>○</p>	<p>新人職員が増えたので教育していきたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>その人らしい好みを家族と共に支援している。理容、美容は家族と相談、望むように支援している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も家族と共に支援する。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>重度化されてきた様子で、この頃入居者が持てる力を発揮されていない場面が多くなったが、それぞれのペースで食事を楽しんで貰える支援はしている。</p>	<p>○</p>	<p>一緒に準備や後片付けをしているつもりになって貰うことでも良いのではと考え、お盆に食器をのせて貰ったり配る手伝いをして貰うなど出来ることを生かしている。</p>
<p>55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒やたばこの嗜好者はいない。飲み物、おやつ、果物などの個々の嗜好に合わせて楽しめるよう工夫している。</p>	<p>○</p>	<p>好きな時に好きな飲み物等、希望に添って支援している。</p>
<p>56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>おむつの使用を減らしたいと食事や入浴前後、定時にトイレ指導をしている。失禁、失便が増す状況の中でも尊厳を守り清潔が保てるように支援している。</p>	<p>○</p>	<p>排泄の記録を活かしたいが、毎日パターンが違うので先手の支援がなかなか出ていない。</p>
<p>57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ある程度職員側でも決めているが、本人の希望に応じて柔軟に対応している。入浴順にこだわる人がいるので、公平になるように配慮している。毎日入浴したい希望の人にも楽しんで貰っている。</p>	<p>○</p>	<p>現在、夜間や寝る前に入りたいという希望の方はおられないが、希望が出されれば職員配置で対応していく。</p>
<p>58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活習慣に応じて安眠を確保できるよう支援している。服薬の必要な人は主治医と連携して支援している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も取り組み続ける。</p>
<p>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>お絵かきや塗り絵の好きな人へは材料や本を選んで貰ったり、お出かけの好きな人へは買い物やドライブに誘うなど、それぞれの好みを活かした支援をしている。</p>	<p>○</p>	<p>一人ひとりの力を活かして役割分担が出来るよう支援したい。生活不活発になりがちの人への支援にも気配りしていく。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持していても使うことのできる人は限られているが持っていることで安心する人もいる。買い物にお連れしても、同じものばかり買って家族が困ってしまったことがあるので、買物は家族に協力して買って支援している。</p>	<p>○</p>	<p>入所時しばらくはお金を使うことのできた人でも、だんだんと財布を忘れるようになり使うことができなくなることから初期対応時の支援を工夫する必要がある。</p>
<p>61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩は日課の一つにしており、外気浴と気分転換、地域との交流を心掛けて支援している。出来るだけ外へ出かける機会をもうけて季節を心と体で感じてもらうよう支援する。</p>	<p>○</p>	<p>ホームだけで過ごすことのないよう支援していく。</p>
<p>62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>希望に沿って故郷への家族旅行を支援したり東京での同窓会に出席された人もいて機会があれば支援する。家族と共に支援しているが年を経る毎に遠くには出かけられなくなって、家族も連れ出すことを不安に思っている。</p>	<p>○</p>	<p>音楽会、展覧会など情報提供をしていく。家族と協力し合って支援をしていきたい。</p>
<p>63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも自由に電話の受付をしている。耳の不自由な方にはスピーカーホンにて利用して頂いています。電話がかかけられない方でも代行、代弁することもある。</p>	<p>○</p>	<p>手紙を書いていた方でも段々書けなくなってきているので、代筆するなど希望があれば支援していきたい。</p>
<p>64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>家族は気軽に24時間いつでも訪問されています。居間で過ごされたり、居室へ行かれたりホーム内自由に過ごして頂いています。</p>	<p>○</p>	<p>これまで同様、開かれたホームを目指す。</p>
<p>(4) 安心と安全を支える支援</p>			
<p>65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>すべての職員が身体拘束はしてはならないものとして捉えて実践している。</p>	<p>○</p>	<p>これまで同様、開かれたホームを目指す。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取り組んでいき たい項目)</p>	<p>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</p>
<p><u>66</u> ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>全員で取り組んで実践している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も継続して取り組む。</p>
<p>67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>昼夜共モニターを利用したり物音に敏感に反応するなど気配りし、居室に籠りがちの入居者へは何かと用事を作って訪室するなど安全確認をしている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も継続して取り組む。</p>
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意すべき物品の管理に気配りしていて、一人ひとりの動向にも注意して取り組んでいる。</p>	<p>○</p>	<p>入居者の状態に合わせた対処をしていく。</p>
<p>69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>事故とはいつも隣り合わせの状況にあることを認識しており、事故防止の為に様々な認定を考えて取り組んでいる。</p>	<p>○</p>	<p>再発防止策を徹底していきたい。筋力低下による転倒が多くなり、この課題を克服する為に取り組んでいきたい。</p>
<p>70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>入居者の急度時の対応に全ての職員が応じられるか心配はある。職員会議での学習を通してマニュアルを作りいつでも使える用意をしている。</p>	<p>○</p>	<p>新人職員が増えたので早急に学習の機会を作りたい。</p>
<p><u>71</u> ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域の防災訓練には職員が交替で参加している。地域の人の協力は不可欠なのでお互いに協力し合える関係作りをしている。</p>	<p>○</p>	<p>災害は忘れた頃にやってくると認識しているので定期的に取り組む。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>本人にとって最善の方法は何かという視点で家族と話し合うことにしている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も必要に応じて、十分に話し合っていく。</p>
<p>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>			
<p>73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>重度化が進みつつあるので、早期発見に努め、経過観察後、主治医、家族等に相談するなど対応している。</p>	<p>○</p>	<p>いつもと違うという気づきが早期発見につながるので、今後も取組んでいく。</p>
<p>74 ○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の情報は、いつでも見られるようになっている。全員が完全に把握しているとは言い難いので、理解の徹底に努めていく。</p>	<p>○</p>	<p>職員全員が理解する必要があるので、取組んでいく。</p>
<p>75 ○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を確認して、家族と共に服薬調整をしている。朝食時に予防食材を取り入れている。ホーム内でも自ら動くことの大切さを日頃から働きかけている。</p>	<p>○</p>	<p>常に予防と対応に取り組んでいく。</p>
<p>76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>朝、優は職員が介助して支援している。昼は介助していないが、歯科衛生士に定期的に来てもらって、職員にも個々のポイントを指導してもらっている。</p>	<p>○</p>	<p>毎食後の口腔ケアに取り組んでいきたい。</p>
<p><u>77</u> ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりに応じて、刻んだり、すり潰したりして、食べやすい食事を提供している。摂取量を記録しており、摂取の少ない人には自室に飲み物を届けるなど、工夫して支援している。栄養のバランス、食材に配慮している。</p>	<p>○</p>	<p>定期的に体重を計測、定期的に血液検査をしてもらなど、体調を把握するようにしている。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>昨年、ノロウイルスのような症状が発症、保健所より指導を受けたので、それを活かして実行している。</p>	<p>○</p>	<p>予防に努め、迅速に対応するべくマニュアルを活かしていく。</p>
<p>79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>冷蔵庫の消毒をはじめ、定期的に在庫品の点検、管理をおこなっている。食材の購入には、鮮度と安全を優先している。</p>	<p>○</p>	<p>今後も留意していく。</p>
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1) 居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>親しみやすい雰囲気作りに心がけ、季節の花で内外を飾り、入居者にも和んでもらえるよう工夫をしている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も留意して取り組んでいく。</p>
<p>81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>適度な飾り物、照明などのインテリアに気配りしている。もともとは普通の家庭そのものであったことを活かしている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も留意して取り組んでいく。</p>
<p>82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>狭い中ながら、家族が来ても座る所に困らないよう工夫して配慮している。入居者も食事時以外は座りたい所へ座っている。</p>	<p>○</p>	<p>今後も留意して取り組んでいく。</p>



項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家具などは用意して貰っている。その後、あったらいいなと思うものについては、家族や本人と十分に検討してから用意している。	○	本人が居心地がいいように、今後も配慮していく。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	昼夜共、利用者の状況に応じこまめに調節している	○	本人が居心地がいいように、今後も配慮していく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の身体状況に応じ、必要とおもえるか所に手すりを増設するなど、安全に配慮して工夫している	○	安全、安心な環境づくりを目指す。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者のわかる力は、毎日変わることも多いので、混乱や失敗が少しでも減るよう、寄り添いながら判断し、工夫している	○	安全、安心な環境づくりを目指す。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	段差があり、転倒のリスクが大きいので今はいかしていない。	○	希望があれば、配慮したい

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入所者6名と大変小規模なので、家族さん同士も和気あいあい、一般の家庭と変わりがない。  
家族会は3カ月ごとに開催しており、お弁当を持って出かけることが多いです。